

THAILAND ECONOMIC UPDATE

March 2021

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย
KASIKORN RESEARCH CENTER



1月のタイ経済はコロナの第2波の影響により不均一な回復傾向

▶ 要点

- ▶ 2021年1月のタイ経済回復は緩やかながらも不均衡な回復傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の流行の第2波が発生したことを受け、一部の経済活動に影響が出たためです。しかしながら、経済全体への影響は第1波の時と比べて深刻ではありません。
- ▶ 2021年2月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比1.17%縮小し、12ヶ月連続のマイナス伸びでした。タイ政府が新型コロナウイルスの感染拡大に伴い消費者支援として実施した電気・水道料金の引き下げや、生鮮食品価格の低下などが原因でした。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.04%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。
- ▶ カシコン・リサーチセンターは、2021年のタイの国内総生産(GDP)成長率の予測レンジを従来の「0.0~4.5%」から「0.8~3.0%」に修正しました。タイ経済の回復は、世界経済より遅れて進むと予測しました。
- ▶ 諸外国で新型コロナウイルスワクチンの接種と経済復興策が進み、世界経済が底を脱してタイの輸出にプラスに働くと見て、レンジの下限を0.0%から0.8%に引き上げる一方、外国人旅行者からの観光収入に依存するタイ経済の回復は世界経済から遅れるとして、レンジの上限は4.5%から3.0%に引き下げました。

▶ タイ経済の動向

2021年1月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2021年1月の重要な経済指標によると、タイ経済は昨年12月半ばに発生した新型コロナウイルス感染症の第2波の影響がより明確になり、経済の回復はさらに不均一となりました。しかしながら、経済全体への影響は第1波の時と比べて深刻ではありません。

1月の民間消費は前年同月比4.9%縮小し、前月のプラス成長からマイナス成長に転じました。旅行者の支出が93.6%減、サービスが29.0%減、耐久消費財が12.3%減、非耐久消費財が8.8%減、半耐久消費財が2.9%減と、全項目が下落しました。

一方で、民間投資は前年同月比1.6%上昇しました。国内の機械販売が4.8%増、建材の販売は

2021年1月のタイ経済指標成長率 (Y-O-Y: 前年比)



3.2%増、機械・設備を中心とした資本財の輸入が2.1%増となった一方、商用車の購入が4.0%減、建設認可を受けた土地の面積は11.7%減でした。

1月の輸出は、前年同月比0.3%減の196億米ドルとなりました。金を除いた輸出額は5.5%増の195億米ドルでした。金と石油関連製品を除いた場合は6.8%増でした。

工業生産に関しては、前年同月比2.8%減となり、2ヶ月連続でマイナス成長になりました。国内需要が縮小したことが原因でした。

観光業では、外国人観光客数が前年同月比99.8%減となりました。タイ政府は10月からタイに最長270日間の滞在が可能となる特別観光査証を取得した外国人旅行者の受け入れを開始したが、入国者はわずかでした。

2021年2月のタイのインフレ率

商務省が発表した2021年2月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比1.17%縮小し、12ヶ月連続のマイナス伸びでした。タイ政府が新型コロナウイルスの感染拡大に伴い消費者支援として実施した電気・水道料金の引き下げや、生鮮食品価格の低下などが原因でした。

品目別にみると、非食品・飲料部門が前年同月比1.60%低下しました。とりわけ、住宅は、4.98%低下しました。一方で、食品・飲料部門は前年同月比0.43%減でした。とりわけ、米・粉製品が5.93%減、果物・野菜が2.75%減となりました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.04%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。

1月の輸出は、前年同月比0.3%減の196億米ドル。

図1：民間消費及び民間投資（成長率：前年比）

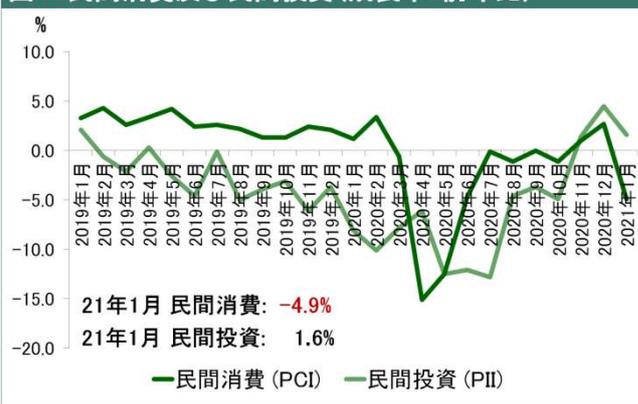


図2：輸出、工業生産、外国人観光客数（成長率：前年比）



図3：ヘッドラインインフレ率及びコアインフレ率

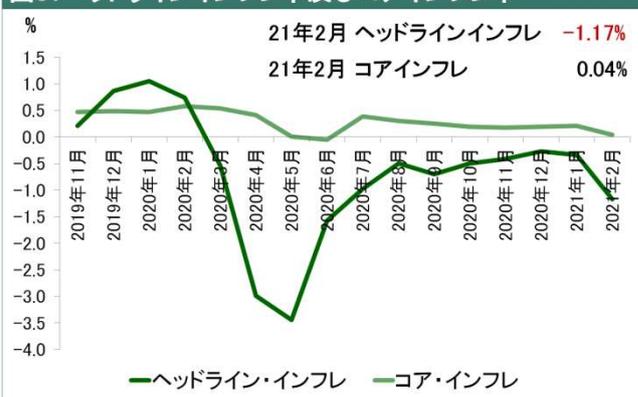


図4：食品・飲料と非食品・飲料の価格



出所：タイ国中央銀行、タイ国工業省、タイ国観光・スポーツ省、タイ国商務省

2021 年のタイ経済の回復遅れを予測

カシコン・リサーチセンターは、2021 年のタイの国内総生産 (GDP) 成長率の予測レンジを従来の「0.0～4.5%」から「0.8～3.0%」に修正しました。タイ経済の回復は、世界経済より遅れて進むと予測しました。

諸外国で新型コロナウイルスワクチンの接種と経済復興策が進み、世界経済が底を脱してタイの輸出にプラスに働くと見て、レンジの下限を 0.0% から 0.8% に引き上げる一方、外国人旅行者からの観光収入に依存するタイ経済の回復は世界経済から遅れるとして、レンジの上限は 4.5% から 3.0% に引き下げました。成長率予

測は 2.6% に据え置きました。

一方、タイの外国人旅行者の主な 10 市場 (中国、西欧、米国、ロシア、アジア、東南アジアなど) が国民のワクチン接種を推進するため、今年の通年で 200 万人を達成する可能性があるかと予測しました。ただし、コロナワクチン接種を受けたことを証明する「ワクチン・パスポート」が導入されることを条件に挙げました。また外国人旅行者に依存する 20 県でワクチンが 10 月までに 22 万回分 (11 万人分相当) が行き渡る必要性も指摘しました。

図5: 2021年タイ国経済指標の予測

経済指標 (%YoY)	2020年	2021F		
		20年12月の予測	21年3月の予測	予測幅
GDP 成長率	-6.1	2.6	2.6	0.8～3.0
— 民間消費	-1.0	1.8	3.4	2.5～3.8
— 政府消費	0.8	4.0	3.0	2.5～3.5
— 民間投資	-8.4	2.5	0.8	0.5～1.5
— 公共投資	5.7	6.1	6.1	5.1～8.4
— 輸出	-6.0	3.0	4.5	3.5～5.5
— 輸入	-12.4	3.6	6.0	5.0～7.0
ヘッドライン・インフレ率	-0.85	0.8	1.1	0.8～1.5

出所: タイ国家経済社会開発評議会 (NESDC), タイ国商務省 (MOC), カシコンリサーチセンターの予測 (2021年3月)

Disclaimer

This research paper is arranged for public information, which has been obtained from sources believed to be reliable. KResearch does not warrant its completeness, reliability or accuracy for commerce or fitness for a particular purpose. The information contained herein may be subject to change at any time without notice. Reliance upon any information contained herein shall be undertaken at a user's own risk KResearch shall not be liable to any user, or anyone else for any damage occurring from the use of any content herein. Nothing in this research paper shall be counted as containing any advice, recommendation or opinion for decision making in business.